

Title	デザイン理論 43号 投稿規程/執筆要領/編集後記/ 奥付
Author(s)	
Citation	デザイン理論. 2003, 43, p. 92-93
Version Type	VoR
URL	<a href="https://doi.org/10.18910/53206">https://doi.org/10.18910/53206</a>
rights	
Note	

*Osaka University Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

Osaka University

## 「デザイン理論」投稿規程

昭和37年11月11日改正, 昭和60年11月8日改正,  
平成2年11月10日改正, 平成6年7月9日改正,  
平成14年11月9日改正

1. 内 容：デザインに関する未発表の論文, 研究報告等。
2. 投稿資格：本会員
3. 採 択：採否及び掲載号については編集委員会が決定する。
4. 査 読：学術論文については, 編集委員会が査読者2名に依頼する。査読結果は編集委員会が本人に通知する。結果は, (A)無条件採用, (B)条件採用, (C)不採用とする。  
査読期間は2ヶ月程度とする。
5. 執筆要領：別に定める。
6. 提出期限：基本的には随時。ただし, 学術論文は, 査読のため, 5月春号掲載希望は, 1月15日, 11月秋号掲載希望は, 6月30日を〆切りとする。  
学術論文以外は, これは投稿予告の期限で, 実際の投稿期限は, それぞれ3月31日, 8月31日となります。
7. 提出先：意匠学会編集委員会  
なお, 以上の規程は, 平成14年11月9日より発効する。

## 「デザイン理論」執筆要領

平成6年6月4日 編集委員会決定

### 1. 原 稿：

原稿は400字詰め横書原稿用紙に横書きとする。

ワープロで作成する場合は, A4大の紙に1行40字, 1頁30行程度で作成すること。査読論文の場合は最終原稿とともに, また, 研究報告等は原稿提出時に, フロッピー(機種, ソフト等を明記)も提出すること。いずれの場合も, 提出に際しては, コピーをとって手元に保存すること。

また, 所定の割付用紙に割り付けを行なって, 原稿とともに提出すること。割付用紙は必要に応じて各自コピーすること。

### 2. 原稿の分量：

分量は学術論文と研究報告はともに, 図版, 図表, 注などすべてを含めて, 刷上りで, 14頁以内とする。(400字詰め原稿用紙では約45枚である)。紙上発表は8頁以内, 発表レジメは2頁とする。

### 3. 原稿の構成：

原稿には, 表紙, 本文, 注, および学術論文と研究報告には欧文(原則として英文)

要約, キーワード, 目次を付すこと。

表紙には, 表題, 著者名(ふりがな付き), 所属機関名を和文と欧文(原則として英文)で書くこと。

欧文要約は, 刷上り1頁とする。語数は約200語。必ず, タイプライターまたはワープロで作成すること。また, できる限り, 当該言語を母国語とする人の校閲をえておくこと。

キーワード(和文および英文)は, それぞれ5語以内とする。

### 4. 図・表のレイアウトなど：

図版はモノクロームとし, 位置の指定, 大きさ, レイアウト, 必要なトリミングなどはすべて執筆者が行なうこと。レイアウトなどには学会指定の割付用紙で行なうこと。

図版などの著作権の問題があると思われる場合は, 執筆者自身が事前に許可をとっておくこと。当学会は著作権についての責任は負わない。

## 編集後記

今年の夏は、イギリスに行くことができませんでした。教区教会の調査に同行する形でしたが、田舎道のドライブを存分に楽しみました。有料道路がなく、交差点に信号がほとんどなく、ラウンドアバウト（ロータリー交差点）も最初は戸惑いましたが、結構楽しく、合理的だと感じました。

ぜひ見たいと思っていたデザイン・ミュージアムには、納得する面と失望を感じました。旅行案内書などには、「日用品のデザインの変遷をビジュアルに展示」と案内してあるのですが、ロンドンで活躍している日本人のデザイナーに聞いたところでは、最近では、展示方針が変更されてきているようです。歴史的な変遷より、現役のデザイナーの仕事を紹介する展示に力点が移ってきているようです。今回訪れた時も、常設展示のスペースより、グラフィックデザイナーとプロダクトデザイナーの回顧展に大きなスペースが与えられていました。デザインの展覧会を企画するキュレーターも育てているとのことで、企画展に重点が移るのも当然かという気もしましたが、常設の歴史的展示の充実も期待したいところです。この点では、ヴィクトリア・アンド・アルバート博物館に、家具を中心にした20世紀のコレクションが結構充実していました。

デザイン・ミュージアムは、未だ課題の一つで、日本での充実に学会が取り組めないか、考える必要がありそうです。デザイン研究の方は期待できそうです。秋季号も十分な論文が集まりました。今後は、投稿論文が多すぎて、次号送りという事態も予測されます。ただ、書評や展覧会評などの投稿が少なく、この点の充実を、会員の皆様をお願いしたいと思います。（文責：渡辺 眞）

## 編集委員

足立裕司	太田喬夫	櫛 勝彦
榊原吉郎	佐藤敬二	並木誠士
橋本英治	藤田治彦	藪 享
横川公子	渡辺 眞	（委員長）

---

## デザイン理論 43号

Journal of the Japan Society  
of Design, 43/2003

発行日 2003年11月15日

発行 意匠学会

事務局 〒606-8585

京都市左京区松ヶ崎御所海道町

京都工芸繊維大学工芸学部造形工学科意匠学教室内

TEL 075-724-7603

FAX 075-724-7629

発行者

意匠学会 編集委員会

事務局 〒610-1197

京都市西京区大枝杏掛町13-6

京都市立芸術大学美術学部第3研究室群合同研究室内

TEL/FAX 075-334-2255

編集責任者 渡辺 眞

印刷所 (株)北斗プリント社

---